

★1972年1月23-29日雑誌週間です 各クラブは何をなすべきか。そのための参考資料が近日R.I. から各会長に送られてきます。会長さんは一読の上雑誌委員長に廻して下さい。或るクラブでは、会員読後の「ロータリアン誌」友、を高校、インターアクトなどに寄贈し、生徒から感想文を寄稿して貰って会報に掲載すると共に優秀作に賞を出して効果をあげています。(ガバナー月信 第7信より)

★公式訪問日記一函館北R.C. (10月27日)

7年前私が特別代表を勤めたクラブですが、2-3年前までは出席率も悪く諸事低調で頭痛の種になっておりました。然るに、5周年を記して全会員が一念発起、俄然出席率が著しく向上して参り、最近は殆んど100%を達成されています。出席率の良いクラブは活動も活発である。これは何れのクラブについても云えることで、当クラブも色々と盛り沢山の計画がたてられています。地区大会の関係もあって、今日迄計画通り実施されてはいませんが、これからの活動に大きく期待しています。自分の作ったクラブ故遠慮なく云わせて貰えば、会員増強が緩慢である。

亀田地区に新クラブの設立は是非早期に完遂して頂かなければならないのですから、それを見越して思い切った増強を実現して下さいよう切望いたしております。

(ガバナー月信 第7信より)

◆ねずみ —— 今年は「ねずみ」の年である。俣野先生の文には「みずのえね」と書いてある。十二支十干の組合はせの事は知らない。多分若さのせいであろう。修業中は「ラッテ」や「ハムスター」は実験動物として、こよなき伴侶であった筈だ。しかしねずみに対する評価は日に日に悪くなるばかりである。おそらくペストを仲介し、我が家の食料を失敬するからであろう。丑(小生の生れ年)より一歩先んじた「ねずみ殿」に今年は敬意を表したい。よって一筆彼等の素性をあばく。——ネズミ、哺乳類、ネズミ科。

世界中に分布する中形か小形の「げっし類」。多くは尾が裸出し、うろこでおおわれる。前後肢の長さは大差ないが、前あしの第1指は小さく痕跡的。門歯は幅狭くのびつづけ、前臼歯がなく、臼歯は3対以下。約200 1,770種。豆種を含めると4,000近く全哺乳類の約半分を占める。(小学館発行日本百科大事典より) ミッキーマウスをはじめ、ねずみに関するお話は数かぎりない。とに角我々には非常に縁近い動物である。良き年にしたいものと念願する次第である。(柴田 記)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
46. 12. 29	45名	37名	8名		
46. 12. 22	45名	37名	8名	6名	95.56%
在函クラブ	(12/21) 函館R.C. 100%	(12/16) 函館東R.C. 94.26%	(12/17) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 1月12日

会員卓話「各地を巡って」 小笠原 孝会員

(柴田会報委員長)

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 1. 12

1971~1972 第26号

第381回例会



五稜郭にて

角谷隆一会員

Goodwill begins with you 善意は先づあなたから!! (ブライトホルツ、R.I.会長指針)

本日のプログラム

「各地を巡って」

小笠原 孝会員

第380回例会記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長
- ◎斉 唱 君ヶ代・奉仕の理想
- ◎ビ ジ ター 函 館R.C. 加藤政雄君 外2名
函館東R.C. 富田 恭君 外8名
- ◆国際ロータリー第351地区ガバナー 富田 恭氏挨拶

おめでとうございます。激動の年でありました1971年も無事送りまして、1972年を迎える事ができました事を心からお喜び申し上げます。本日は新年早々2名の新会員を当クラブに於いて迎えられ、平素私が会員増強に関し強くお願いしてありました矢先この2名の新会員の入会を聞き誠に喜ばしい事と考える次第でございます。

当クラブと致しましては、本年は亀田に新クラブを結成すると云う重大な責任を持つ

ておられるはずで、この点お忘れなく会員増強に御尽力下されます様お願いいたします
月日のたつのは早いもので、私が就任致しまして早や半年を過ぎてしまいました。その間函館R.C.がホストとなりまして、地区大会も無事終了し、公式訪問も46クラブすべて11月2日をもって終わりました。皆様のクラブも半年を過ぎまして年度当初に於いて計画されました計画がいかに達成されましたかを1月中旬にアッセンブリーを開かれまして御反省下さいまして、残る半年にこの計画を実行されます事を切に希望いたします。

本年度の会員の増強は全体的にみまして100名近い会員が増強されておりますが、新クラブは室蘭北クラブが12月19日に結成されただけでございます。どうかその意味におきましては亀田の新クラブは期待されておりますので、是非これが実現出来ませう様お願いいたす次第でございます。

昨年度は当地区に於きましては2~3クラブ100%に達しないクラブがありました。が本年度は全部100%クラブになりましたので351地区は100%になったと云うプレートが参っております。これも皆様方の御協力の賜と深く感謝する次第でございます。今後とも益々御協力下さります様お願いいたしまして、私の年頭の挨拶に代えさせて頂きま

●幹事報告

- (1)札幌R.C.より札幌オリンピック冬季大会記念インターシテイ・ミーティングを2月5日午後6時より札幌グランドホテル2階で開催いたします。登録料は3,000円です。
- (2)クリスマス家族会のカラー写真が下郡山会員の御努力によりまして完成され張り出しております。必要枚数を御記入下さい。
- (3)本日は新年最初の例会ですので、理事会を開きます。理事の方はお残り下さい。
- (4)ロータリー友の会より投稿依頼が参っておりますのでお知らせいたします。

●ニコニコボックス

- (1)布目会員、富田ガバナー、山田会員、吉井会員 新年を記念して
- (2)野村会員 100%出席を祈願して
- (3)藤林会員 71年を無事終了して
- (4)山本会員、小村会員 入会記念として
- (5)遠藤会員、酒井会員、山内会員 誕生祝として
- (6)酒井会員、俣野会員、関本会員 結婚記念として

●船矢健喜智会長挨拶

新年にふさわしい挨拶は先程富田ガバナーがされましたので私は何か話をしてみたいと思います。

私が中学校のころは、校長先生は普通講義をしない習慣でした。処が或る日校長先生の話があるので集まれと云う伝がありました。我々が集まるとすぐ校長先生は黒板に逆境の福音と書かれたのを記憶しております。当時の状況は昭和8年頃でヒットラーがドイツの政権を取って昭和13年にはオーストリアを合併して驚異の躍進をとげていた時であります。それで実際ドイツは第1次大戦で負けて海外領土の全てを失い、自分の領土もけずられ、しかも尚1,320億マルクと云う当時にすれば天文学的数字の倍償金を取られて、再び起つ事が出来ないのではないかと云われたドイツですが、ヒットラーが台頭

して当時の一等国としてのし上がらんとしていた時代です。

どうしてこの力が出て来たのか大変不思議でその原因をつきとめたいと思っていました。そこで校長先生はヒットラーの書いたものの中から何か判るのではないかと考えてそれを探し読んでみました。処、その中に「逆境の福音」と云う言葉がありました。それはしいたげられて非常に圧迫されたために、かえって反発する力となってその当時の驚異的な発展をとげたのであると云う事を見て、始めて納得したという事でございます。実際今ふり返って見ますと、今度の第2次世界大戦で負けたのはドイツであり、日本であります。勝ったのはイギリスであり、フランスであり、アメリカです。しかし戦後驚異的復興を遂げたのは西ドイツであり、日本です。

我々が小学校の時、日本の発展しない理由として学んだのは、植民地がない、資源が乏しい、領土が少ないという事でございます。しかし戦後、海外の領土の大半を失いながら、かくも驚異的な発展を遂げた訳でございます。西ドイツにしましても同様でございます。こう云うみじめな状態、即ち逆境に立たされた時それに反発してかえって強くなる。こう云う事がその当時の校長先生の教えであったと思います。

古い歴史を振り返りますと、文明の発しよう地はエジプトからイスラエルを通り、チグリスユーフラテスの河を下って、アフガニスタンからインドにかけての豊富な三日月地帯と中国の黄河の附近と考えられております。その理由は我々中学校時代は、その地帯は地味が豊かである。農耕に適している。だからあの様に発達したのだと教えられて来ました。

しかし、それだけの理由だとするならば、植物の成長が一番易いのは熱帯地方であり、又飼育する動物の豊富なものもアフリカです。中国の黄河附近、インドの三日月地帯等はこれらより劣っているはずでございます。それだけの理由ではございません。最近出版された本で、アーノルドJ・トインビーと云う人の「歴史の研究」と云う本の中で、文明が発達したのは第四氷河期が終わってから後。今から1万年位前です。その時はどう云う時代かと申しますと、1万年以前迄は第四氷河期でございます。ヨーロッパ大陸迄氷河がおおっておりました。従いましてその当時は豊潤な土地でございました。

現在はそれが次第に乾燥されサバク化して、動物は少くなり、植物は成長が悪くなるその様な状態に1万年位前からおかれた訳です。その時に人類は2つの方法をとりました。

1つは動物と共に他の地区に移るか、又減っていく動物を飼育するか、そう云う方法を取った。それが文明の始まりであると云う説です。

この様な考えは、すでに14世紀頃にはチュニジアのイブン、ハウドウィと云うイスラム教の歴史哲学によってもとなえられていた説です。我が国を見ましても、丁度平安貴族の時代には武士はその下に位して、生活も豊かではなかった。そうなりますと貴族は次第に力を失って下に位していた武士が力を増して政権を取った。

武家政治も戦国時代迄は色々な政権がありまして、努力をしておりましたけれども、江戸時代に入りますと一応武士は階級の一番上に位していたけれども、実質的な力は次第に町人に移っていった。そう云う風に、又武家政治そのものを取りましても源氏・平家と権力の座に付いたものは、次々と変って行きました。そう云う状況でございます。

そう云う風にして考えますと、私が中学校時代新年早々校長先生から聞いた「逆境の福音」と云う言葉が非常に意味深いものであって、歴史の底を流れている原理であると今でも思い返している訳です。年頭の適当な言葉がありませんでしたので、私が校長先生に年頭に聞いた言葉を皆様にお伝えする訳でございます。

◎新入会員紹介

氏名 北條 澄 雄 推薦者 市川芳夫会員
ほう じょう すみ お



住所 函館市田家町10の1 TEL 42-4083

生年月日 昭和16年10月10日生

勤務先 北條 齒科医院

学歴 東京医科歯科大学卒業 (昭和42年)

趣味 野球、スケート、ボーリング、音楽

ご家族 父 時 雄 大正2年3月27日生 妹 幸子 昭和23年8月2日生

母 房 江 大正7年5月12日生 ♪ 美智子 昭和25年8月12日生

弟 邦 彦 昭和21年7月3日生

氏名 熊谷 和 夫 推薦者 遠藤尚義会員
くま がい かず お



住所 函館市万代町9-27 TEL 41-0185

生年月日 昭和2年8月7日生

勤務先 熊谷耳鼻咽喉科医院

学歴 青森医学専門学校卒業 (昭和25年)

趣味 カメラ

結婚記念日 昭和27年9月22日

ご家族 奥様 英子 昭和5年11月15日生 次男 雅彦 昭和32年5月20日生

長男 輝昭 昭和28年12月26日生

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 1. 5	47名	39名	8名		
46. 12. 29	45名	38名	7名	6名	97.78%
在函クラブ	(12/23) 函 館R.C. 92.68%			(12/24) 函館五R.C. 100%	

次回例会日 1月19日

プログラム「未 定」

(広瀬会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
 ロータリー合同事務所
 ☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
 五島軒駅前支店
 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 1. 19

第382回例会

1971~1972 第27号



五稜郭にて

R. Kadaya

角谷隆一会員

Goodwill begins with you 善意は先づあなたから!! (ブライトホルツ、R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「献血運動の現況について」
 函館赤十字血液センター 所長・金子 園明氏

第381回例会記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長 ◎斉 唱 我等の生業
- ◎ビジター 上福岡R.C. 小川 清一君 (非鉄製造)
 札幌西R.C. 佐々木保雄君 (地質コンサルタント)
 小樽南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造)
 森 R.C. 谷 義一君 (電気工事)
 函館R.C. 相馬 哲平君 外8名
 函館東R.C. 森岡 勝君 外2名
 函館(五)R.C. 前田 憲司君
 新入会員 沢村 敏雄君